鉄きらきら新聞

平成25年
8月26日
夏休みスペシャル号
三田佑奈

駅で発見!! 人に優しい環境づくり

私は、よく電車に乗ります。この夏休みも何度か母と買い物に出かけました。そして、乗るたびに「あぁこれって人に優しいな」と思う駅構内の環境や駅員さんにも出会いました。

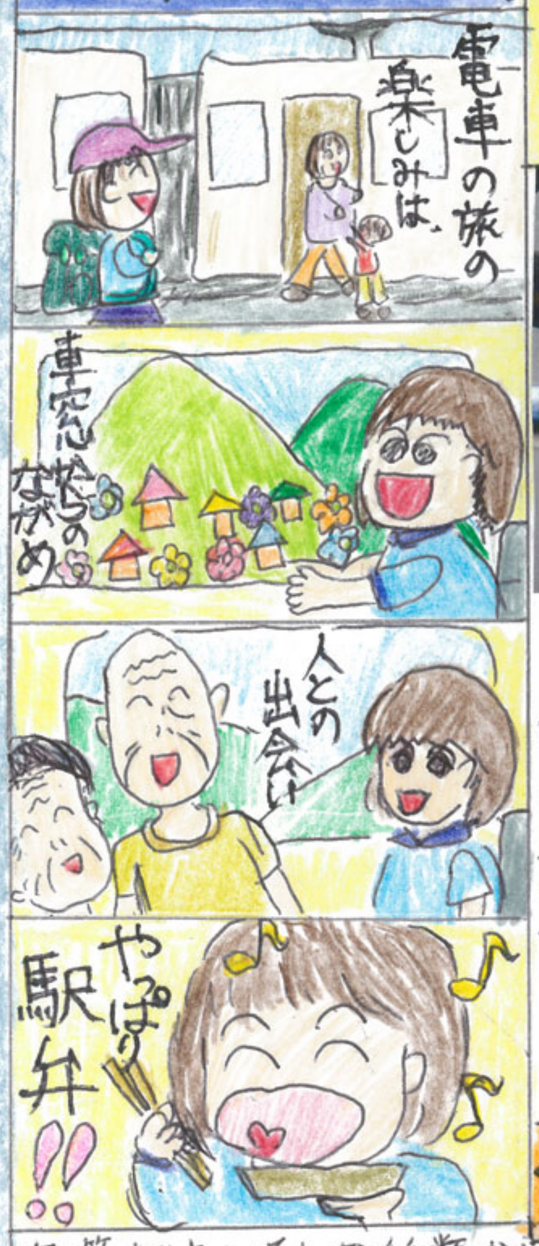
お年寄りや体の不自由な方妊娠していらっしゃる方のためにつくられた優先座席、車いすの方を優しく介助する駅員さん、また、私が乗りつぎや時刻表の見方などわからなかった時はとても親切に教えて下さいました。

そして、初めて女性専用車両にも乗ってみました。女性だけの空間はなんだか不思議でした。若い女性が多いように、思いました。

駅という場所は、毎日の生活の中で欠かすことのできない人や、旅の途中人との出会いを求める通過地点でなくてはならないものなのだと思います。人に優しい環境づくりは、今後もどんどん多くの人の声やアイディアで発展していけたらいいなぁと思います。

○青い部分は点字で行く方面が記されています。
○スロープや手すりが設けられ安全が保たれています。
○点字ブロックがあります。目の不自由な人が感心覚をたよりに歩けます。
〈点状ブロック〉ここで止まる方向をかえる
〈線状ブロック〉目的地まで誘導する

電車の旅は…。



切符の種類

切符にはいろんな種類があるんだなぁ。図書館で調べてびっくりしたよ!! 上手に使いわけると楽しい旅ができそうだ!! 私が特に興味があるのは寝台列車だよ。電車のガタンゴトンを聞きながら日本をたずねる旅に出たいなぁ。

乗車券	運賃を支払った時に発行される切符普通列車に乗る時購入
指定席特急券	新幹線や特急列車の座席指定に乗る場合乗車券の他にこれが必要子どもでも席をひとつ使う場合は大人料金を払う
グリーン券	設備やサービスが良いグリーン車に乗る際いる。大人も子どもも料金は同じ
寝台券	寝台車に乗る際購入します
自由席特急券	乗車する特急列車の時間などを決めず有効期間中であればどの特急列車にでものれる、特急券座席指定なし

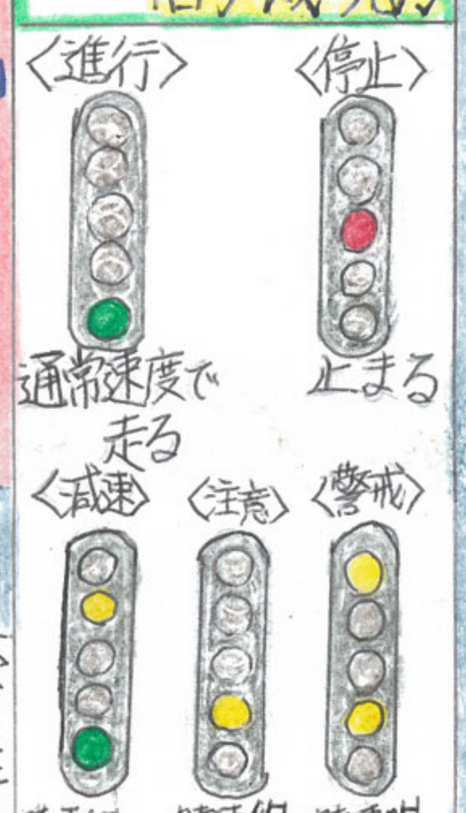
「上り」と「下り」の秘密

みなさん知っていますか? すべての路線には起点と終点が定められています。また起点を「上り」といいます。終点から起点へ向かう列車を「下り」といいます。

※ほとんどの鉄道会社では、上りの列車には奇数を下りの列車には偶数をつけています。

例「のぞみ13号」→奇数だよ!!
例「ひかり460号」→偶数だよ!!

電車 信号機の見方



姫新線で祖父母の家まで Let's go!

〈東播磨駅にて〉

私は今年の三月に姫路市から明石市に転校しました。以前住んでいた所は、自然がいっぱいのとても緑のきれいな所でしたが田舎ということもあり交通手段が限られたものになります。そんな住民にとって東播磨駅は、なくてはならない大切な駅です。利用客は昔と比べるとずいぶん減り、駅そのものも無人駅でさみしいけれど駅構内はとてもきれいに掃除もされお花も植えてありました。また、スロープもありお年寄りや体の不自由な方にも優しいつくりでした。祖父母の迎えもあり、夏休みの私の小さな一人旅ができました。

私のアイディア

実際に電車を利用してみていろんな発見をしました。そんなゆ自分が感じたことや考えたことをまとめてみました。

○電車の乗り降りの際 足の不自由な方達はおそるおそると足を運ばれていました。ホームと電車のすき間は私でも「ここにはまってしまったらどうしよう、こわいなぁ」と足がすくみます。たとえばホームの電車乗降口に手すりがあればどうでしょうか。すき間をうめるゴム製のパッキンとかがあればいいのに!!と思いました。

○ホームには数ヵ所ベンチがありますが数にも限りがあります。お年寄りや妊婦さんが立っていて若者が座り携帯電話をしていたりします。ホームにも優先座席やちょっと腰をもたせられる場所があればいいと思います。

○朝夕のラッシュ時の階段は人が押し寄せてくるにこわかったです。もしだれかが足をふみはずしたら大惨事です。駅構内の階段がスロープだったらベビーカーや車いすの人も便利だと思います。

以上、もっともっと電車を利用し以のだ駅

編集後記

これから私が歩む人生の中で駅という場がどんな所でどのような出会いにめぐりあえるのかドキドキワクワクします。みんなで新聞は6年生である私にとって最後の新聞です。これは何度目かの挑戦です。今までの中で一番が楽しく満足のいく新聞づくりができました。